



麦浪

平成21年度より
倉吉市新田 405-1
☎ 0858 (26) 6355

開校20周年①

「地域づくりの拠点・義務教育の基礎となる学習の場として再び上北条地区に小学校の建設を」という地域の方々の願いとそれを受けた行政、関係者・関係機関のご尽力で平成2年4月4日に開校となった上北条小学校。

本年度は、開校20周年となる節目の年です。「開校20周年実行委員会」を中心として、様々な記念事業も予定されています。詳細については学校だより等でお知らせさせていただきますが、「麦浪」でも関連した話題も掲載させていただきます。



開校20周年②



<ドリームイルミネーション>

旧上北条小学校廃校以来30年余り地域に小学校がない寂しい状況が続いていた。昭和58年7月、各集落の自治公民館長が中心となって上北条小学校建設促進期成同盟会（現在の上北条小学校教育振興会）が結成された。市への要望、当時の行政の尽力などもあり、曲折を経ながらも平成2年4月に上北条小学校開校が決まった。

小学校建設にあたって地域の次のような願いが込められていた。（記録より）

- ①子ども達のためにゆとりあるくいの無い施設
- ②地域の人々が誇りの持てる施設（日本一、県一の学校として）
- ③校舎内は暖かみのある日本式風に木材を使用
- ④地区の活性化と住民の交流を深める拠点としての施設
- ⑤地区住民はもとより子ども達が末永く故郷を忘れないで欲しいという願いを込めて「チャイム」の設置（曲はふるさとを放送する）

平成2年4月4日、8学級、児童数230名の新しい上北条小学校がスタートした。

開校20周年③

開校にあたって、様々な困難を乗り越える必要があった。まず、用地の確保である。校地を確保するために、関係者の理解を得て、児童数（230名）から基準となる校地の約1.5倍の20,422㎡の校地を確保することが出来た。

校舎建築にあたり、「現在の校舎建築の中からユニークで学習活動に有利な学校」という視点から全国の情報を集め、根岸小学校（東京）等の視察も経て「従来の学校より廊下を広く取り、学年が1区画となりワークスペースを活用した学習意欲をかき立てる」校舎が建設されることとなった。

体育館の建設に際しては、文部省（現文部科学省）の基準では797㎡（男子9人制のバレーコートが1面しか取れない：当時の記録から）であった。バレーコート2面程度の広さは欲しいと関係機関に要望を出したが無理で、最終的に地元の協力金を得て992㎡の体育館が建設された。体育館や校庭は子ども達の学習はもちろん、地域の体育活動・交流の場となっている。

次号では、開校20周年事業に関わる主な事業についてふれることとします。



<体育館周辺>

開校20周年-4

開校20周年となる本年、学校・地域を大切に思う心を様々な形で具現化できたらと考えます。教育活動を通しての子ども達の関わりを持たせるとともに、節目の年として「上北条小学校開校20周年記念実行委員会（保護者・学校・地域の方等の代表で構成）」では、これまで数回会を持ち、次のような活動をすすめていただいています。

- PTA会報「20周年記念特集（通常号の中でページを増やす）」発行
- 記念植樹（実のなる木）



○学校行事と連携して

- ・運動会（9月13日） 20周年をアピール（PR、種目等）
- ・音楽会（10月17日） 20周年をアピール（演目） 河北中学校吹奏楽部の演奏
記念式典、記念コンサートの開催

○航空写真・記念写真の撮影（6月12日実施済み）

○校庭整備（排水対策） 保護者の方、企業ボランティアによって実施済み

開校20周年に関わる主なものを列記しました。上北条小学校開校20周年を祝福するとともに、これを節目として、地域の中の学校として教育活動の推進に努めて参ります。上北条小学校教育へのますますのご理解・ご支援よろしくお願いたします。

開校20周年

開校にあたってのハード面の充実は既述のとおりであるが、「日本一の学校を創り上げる」を合い言葉にソフト（教育活動）面の充実も進められた。

授業研究を核に、通算5回の自主研究発表会や国や県をはじめ各種の研究指定を受け先進的な研究が実践されてきた。そのため、本校への学校訪問者も多く、「才能開発実践教育賞」受賞等本校の取り組みが広く認められてきた。

「研究（授業）を通して子どもたちを育てる」理念は脈々とつながり、本年も英語活動拠点校、県中部の生活科の発表会を開催することとなっている。

<開校当時の航空写真>



<第1回自主研究発表会（平成5年度）>

開校20周年記念事業

10月17日（土）、開校20周年記念事業として音楽会、河北中吹奏楽部演奏会、式典、コンサートが行われました。大勢の保護者、来賓・地域の皆様をお迎えし、盛大に祝福していただきました。上北条小学校教育へのご理解ご支援に感謝し、一層地域の皆様に愛される学校として努力してまいります。

「上北条地区に小学校を」という願いが叶い、平成2年、新しく上北条小学校開校となりました。広い校地と体育館、オープンスペースを広くとった木のぬくもりのある校舎等思いのいっばいこもったスタートでした。

上北条小学校のキーワードは「学びの学校」と「地域の中の学校」だと考えます。本校は、常に先進的な教育実践に取り組んできました。基本的な学力を身につけることはもちろん、他校に先んじた取組を進めてきました。「生活科」「総合的な学習の時間」「小学校外国語活動」等の新しい分野の学習にも積極的に取り組み、県内外の様々な方面から注目を集め、成果を上げてきました。本年度も今月27日に「小学校外国語活動拠点校」としての授業公開、来月11日は「生活科」の授業公開を通して取組の一端をご覧ください。

また、本校は「地域の中の学校」として様々な形で保護者や地域の方々に支援していただいています。登校時のボランティア、校地内の草刈り等の環境整備、毎週木曜日朝の読み聞かせやわかさ農園での米づくりボランティア等多くの方に支援していただいています。

児童の皆さん。仲間と力を合わせることで併せて、学校には家族や地域の人達の支えや思いが込められていることも忘れてください。そして、さらにすばらしい上北条小学校を作り上げてほしいと思います。

校長室に「麦焼き」という絵があります。季節は初夏、夕日を背景に麦藁を燃やす白い煙が至るところで立ち上る上北条地区の田園風景が描かれた絵です。昭和35年に河北小学校に寄贈されましたが、「ぜひ上北条小学校に」という関係者の思いで、手続きを経て本校にきました。この絵を見て地区の原風景、地域に対する人々の愛着を感じています。上北条小学校教育のよき伝統を継承するとともに、さらなる発展に保護者や地域の皆様と手を携え職員一同努めますので、一層のご支援・ご協力方お願いします。（開校20周年記念式典校長挨拶より）



上から音楽会、記念式典、ペパコンサート

20回目となる音楽会。音楽会には上北条小学校の歴史があります。開校の年、開校式や入学式には、「ふるさと」を学校ができた喜びを込めて一緒に歌いました。「校歌を歌いたい。できたら以前の校歌を歌いたい」と、校歌を覚えておられる人に聞きながら校歌を作り上げました。第1回校内音楽会で初めて校歌が披露されました。子どもたちが歌う校歌を再び聞いたときの喜びは一塩であったと思います。開校10周年記念音楽会で、現在のような校歌2部合唱が披露されました。以前校歌をよみがえらせ、

合唱曲にいただいた方の指揮で校歌を歌いました。開校20周年となる今年の音楽会のテーマは「心を一つに 夢にむかってひびかせよう」です。児童の皆さん。校歌に込められた思い、先輩や家族・地域の人々の思いを大切にしてください。すばらしい音楽会を作り上げましょう。

(記念音楽会校長挨拶より)

ふるさと 上北条

上北条小学校では地域の皆様に様々な形で教育活動に関わりを持っていただいています。児童アンケートでも地域学習や交流活動は95%が楽しいと回答しています。しかし、地域や学校の自慢となると物足りなさを感じます。故郷や学校に誇りを持つには、よく知ることだと考えます。麦浪でも折にふれて取り上げていきます。今回は自分たちの住んでいる集落についてです。

各集落の名称の由来は、上北条青年団の伝説昔話集では次のようになっています。農地開発の苦労を物語ったものが多い(故谷田亀寿氏稿より)。

春の二条大麦(ビール麦)、秋の米、果樹や野菜をはじめ実り豊かな田畑を有する現在の上北条地区。農地開発に関わり、先人達の苦労に思いを



<上北条地区の様子>

はせると共に、地区の集落名から誇りを持ってよいものだと思います。

- 古川沢：近年までは湿地帯であった
- 小田：小さな田・尾田(尾は山の鼻)
- 小田東：小田集落の東に位置する
- 下古川：天神川の古い川跡。上古川と区別する
- 新田：下市場という集落が川改修により移住
- 井手畑：北条平野の灌漑用水に沿う畑地にできた
- 中江：天神川の自然河道の屈曲地に臨んだ
- 中江西：中江の西方、工業用地の跡地にできた
- 穴窪：古い川(天神川)跡の窪地を開拓した
- 大塚：集落の西に大きな塚(岩屋古墳)があった

右下の表は各集落から上北条小学校に通学している児童数の移り変わりです。全体の児童数減はありませんが、住宅の開発等による集落別の割合の変化も分かります。

*平成6年1月「中江西自治公民館」発足に伴い中江西子ども会もできた。

	古沢	小田	小田東	下古川	新田	井手畑	中江	中江西	穴窪	大塚	合計
平成2年	13	26	44	32	22	20	36	17	20	230	
平成12年	24	12	17	29	7	7	20	29	20	14	190
平成21年	5	13	35	14	13	10	13	9	16	12	140